

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学1		
副教材	理科ノート		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 理科の目標と評価について

教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)</p> <p>○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身に付けているか。</p> <p>○観察・実験の基本操作を習得できているか。</p> <p>○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。</p> <p>○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。</p> <p>○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
評価方法	<p>・単元テスト・小テスト</p> <p>・パフォーマンス(技能)テスト</p> <p>・授業のようす</p> <p>・ノートやレポートの記述内容、実験・観察の予想や考察、自分の考えなど</p> <p>・振り返り</p>

2 理科の学習について

進授業方の	<p>・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。</p> <p>・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。</p> <p>・理科学用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で活用できるようにしましょう。</p> <p>・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。</p> <p>・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。</p> <p>・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。</p>
テスト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した教科書の範囲の内容から出題されます。</p> <p>○eライブラリ等の練習問題などにも積極的に取り組みましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	<p>①単元名(教材名) 単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・生物の観察と分類のしかたに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりしている。</p>
5月	<p>①単元名(教材名) 第2章 植物の分類</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・植物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。</p>
6月	<p>①単元名(教材名) 第3章 動物の分類</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・動物のからだの共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、動物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。</p>
7月	<p>①単元名(教材名) 単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・身のまわりの物質をさまざまな方法で調べる実験を通して、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解している。</p> <p>・白い粉を区別するという課題の解決に向けて、対話を通して、学習に臨んでいる。</p>
8月	<p>①単元名(教材名) 第2章 気体の性質</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・気体を発生させてその性質を調べる実験を通して、気体の種類による特性を理解するとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につけることができる。</p>
9月	<p>①単元名(教材名) 第3章 水溶液の性質</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・物質が水にとける現象について、粒子モデルを用いて、説明することができる。</p> <p>・水溶液から溶質をとり出す実験を通して、その結果を溶解度と関連づけて理解している。</p>

3 年間指導計画（その②）

10月	<p>①単元名(教材名) 第4章 物質の姿と状態変化</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・物質の状態変化についての観察, 実験を通して, 状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。また, 物質は融点や沸点をさかいに状態が変化することを知るとともに, 混合物を加熱する実験を通して, 沸点のちがいによって物質の分離ができることを理解している。</p>
11月	<p>①単元名(教材名) 単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・光についての観察, 実験を通して, 光が水やガラスなどの物質の境界面で反射, 屈折するときの規則性や, 凸レンズのはたらきについての実験から, 物質の位置と像の位置および像の大きさの関係を理解している。</p> <p>・光の反射や屈折, 凸レンズのはたらきから規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p> <p>①単元名(教材名) 第2章 音の世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・音についての観察, 実験を通して, 音は物体が振動することによって生じ空気中などを伝わることや, 音の高さや大きさは発音体の振動に関係することを理解している。</p>
12月	<p>①単元名(教材名) 第3章 力の世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・物体に力をはたらかせる観察, 実験を行い, 物体に力がはたらくとその物体が変形したり動き始めたり, 運動のようすが変わったりすることや, 力は大きさと向きによって表されること, 物体にはたらく2力のつり合う条件を理解している。</p>

3 年間指導計画（その③）

1月	<p>①単元名(教材名) 単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・火山活動と火成岩,自然のめぐみと火山災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。</p> <p>・地下のマグマの性質と火山の形との関係性,自然のめぐみや火山災害の火山活動のしくみとの関係性などを見いだして表現することができる。</p>
2月	<p>①単元名(教材名) 第2章 動き続ける大地</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・地震の原因と地球内部のはたらきとの関係性,地震災害と地震発生のしくみとの関係性などを見いだして表現することができる。</p> <p>・地震,地震災害に関する事物・現象に進んで学習に臨んでいる。</p>
3月	<p>①単元名(教材名) 第3章 地層から読みとる大地の変化</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・大地のなり立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら,地層の重なりと過去のようなすについて基本的な概念や原理・法則などを理解している。</p>

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学2		
副 教 材	理科ノート		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 理科の目標と評価について

教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)</p> <p>○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身に付けているか。</p> <p>○観察・実験の基本操作を習得できているか。</p> <p>○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。</p> <p>○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。</p> <p>○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単元テスト・小テスト ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業のようす ・ノートやレポートの記述内容、実験・観察の予想や考察、自分の考えなど ・振り返り ・ロイロノート提出率

2 理科の学習について

進授業方の	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科学用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
テスト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した教科書の範囲の内容から出題されます。</p> <p>○eライブラリ等の練習問題などにも積極的に取り組みましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	<p>①単元名(教材名) 単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを見いだして理解することができる。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表せることを理解している。</p> <p>・化学変化における物質の変化を見いだして表現することができる。</p>
5月	<p>①単元名(教材名) 第2章 物質どうしの化学変化</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・2種類の物質を反応させる実験を通して、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること、化学変化は化学反応式で表されることを理解している。</p> <p>・化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現することができる。</p> <p>①単元名(教材名) 第3章 酸素がかかわる化学変化</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・酸化や還元の実験を通して、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解している。</p> <p>・原子や分子と関連づけて、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現することができる。</p>
6月	<p>①単元名(教材名) 第4章 化学変化と物質の質量</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を通して、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。また、化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解している。</p> <p>・原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現することができる。</p> <p>①単元名(教材名) 第5章 化学変化とその利用</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・化学変化によって熱をとり出す実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解することができる。</p>
7月	<p>①単元名(教材名) 単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p> <p>・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解している。</p>

3 年間指導計画（その②）

8月	<p>①単元名(教材名) 第2章 雲のでき方と前線</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについて理解している。</p>
9月	<p>①単元名(教材名) 第3章 大気の動きと日本の天気</p> <p>②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・翌日の天気がどのようになるか、天気の予測に進んでかわり、よりよい予測のために見通しをもって、ねばり強く取り組むことができる。</p> <p>・日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害などについて理解している。</p>
10月	<p>①単元名(教材名) 単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・静電気の性質および静電気と電流には関係があること、また、静電気と放電を関連させ、放射線の性質と利用について理解している。</p>
11月	<p>①単元名(教材名) 第2章 電流の性質</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・電流と電圧に関する規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p> <p>・回路の各点に流れる電流や、各部分の電圧について調べる技能を身につけるとともに、電流、電圧のはたらきを理解している。</p>
12月	<p>①単元名(教材名) 第3章 電流と磁界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・磁界と磁力線の関係、電流の磁気作用に関することを理解している。</p> <p>・電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現することができる。</p>
	<p>①単元名(教材名) 単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解している。</p>

3 年間指導計画（その③）

1月	<p>①単元名(教材名) 第2章 植物のからだのつくりとはたらき</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら,葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解している。</p>
2月	<p>①単元名(教材名) 第3章 動物のからだのつくりとはたらき</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら,動物が生命を維持するはたらきについて理解している。</p>
3月	<p>①単元名(教材名) 第4章 刺激と反応</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら,刺激と反応について理解している。</p>

令和8年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	理科
教科担当			
教科書名	新しい科学3		
副教材	理科ノート		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 理科の目標と評価について

教科の目標	<p>自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)</p> <p>○自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身に付けているか。</p> <p>○観察・実験の基本操作を習得できているか。</p> <p>○観察・実験を計画的に実施し、その結果を記録・整理できているか。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察・実験を行うことができているか。</p> <p>○観察・実験の結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究しているか。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>○自然の事物・現象に進んで関わり見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。</p> <p>○自然の事象・現象を自らの日常生活との関わりでみようとしているか。</p>
評価方法	<p>・単元テスト・小テスト</p> <p>・パフォーマンス(技能)テスト</p> <p>・授業のようす</p> <p>・ノートやレポートの記述内容、実験・観察の予想や考察、自分の考えなど</p> <p>・振り返り</p>

2 理科の学習について

授業の進め方の	<p>・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。</p> <p>・これまでに学習した内容や知識と結びつけながら、仮説や予想を立てるようにしましょう。</p> <p>・理科学用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で活用できるようにしましょう。</p> <p>・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。</p> <p>・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、自分が観察した事実やわかったことを表現しましょう。</p> <p>・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。</p>
単元テスト	<p>○授業で扱った事項、及び試験前に指定した教科書の範囲の内容から出題されます。</p> <p>○eライブラリ等の練習問題などにも積極的に取り組みましょう。</p>

3 年間指導計画（その①）

4月	<p>①単元名(教材名) 単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・細胞分裂と生物の成長, 生物のふえ方について理解している。・生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現することができる。
5月	<p>①単元名(教材名) 第2章 遺伝の規則性と遺伝子</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・細胞分裂と生物の成長, 生物のふえ方について理解している。・生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現することができる。 <p>①単元名(教材名) 第3章 生物の多様性と進化</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・生物の種類が多様性と進化について理解している。
6月	<p>①単元名(教材名) 単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して, 水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解することができる。また, 電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して, 電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに, イオンの生成が原子のなり立ちに関係することを理解している。 <p>①単元名(教材名) 第2章 酸, アルカリとイオン</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・酸とアルカリの性質を調べる実験を通して, 酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを理解している。また, 中和反応の実験を通して, 酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解している。・中和のしくみについて, イオンのモデルを用いて考えている。
7月	<p>①単元名(教材名) 第3章 化学変化と電池</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・イオンと関連づけて, 化学変化における規則性や関係性を見いだして表現することができる。・電池の中で起こっていることを, イオンや電子のモデルを用いて表現することができる。

3 年間指導計画(その②)

8月	<p>①単元名(教材名) 単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現することができる。・物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察, 実験を行い, 物体の運動には速さと向きがあること, 力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にともなって物体の速さが変わること, および, 力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを見いだして理解している。
9月	<p>①単元名(教材名) 第2章 力のはたらき方</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら, 水中の物体にはたらく力, 力の合成・分解, 力と運動の関係を理解している。・力のつり合いと合成・分解, 運動の規則性や関係性を見いだして表現することができる。
10月	<p>①単元名(教材名) 第3章 エネルギーと仕事</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・仕事に関する観察, 実験を行い, 仕事と仕事率について理解している。また, 力学的エネルギーに関する観察, 実験を行い, 物体のもつ力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事で測れること, 運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを理解している。・力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現することができる。
11月	<p>①単元名(教材名) 単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら, 日周運動と自転, 年周運動と公転について理解している。・天体の動きと地球の自転・公転について, 天体の観察, 実験などを行い, その結果や資料を分析して解釈し, 天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現することができる。
12月	<p>①単元名(教材名) 第2章 月と金星の見え方</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら, 月や金星の運動と見え方について理解している。 <p>①単元名(教材名) 第3章 宇宙の広がり</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <ul style="list-style-type: none">・太陽系と恒星について理解している。

3 年間指導計画(その③)

1月	<p>①単元名(教材名) 単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・自然界のつり合いについて理解している。</p>
2月	<p>①単元名(教材名) 第2章 自然環境の調査と保全</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解することができる。</p> <p>①単元名(教材名) 第3章 科学技術と人間</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知るとともに、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識することができる。また、物質に関する観察、実験などを通して、日常生活や社会では、さまざまな物質が幅広く利用されていることを理解するとともに、物質の有効な利用が大切であることを認識している。</p> <p>①単元名(教材名) 終章 持続可能な社会をつくるために</p> <p>②概ね満足な姿(B規準)</p> <p>・これまでの理科学習について進んでふり振り返り、持続可能な社会の実現に向けてねばり強く考えることができる。</p>
3月	高校入試対策